

百折不撓

題字 百折不撓 指揮 宇和島市立津島中教頭 河野 理恵 解説は3面



私の仲間たち

愛媛県PTA連合会会長

行天雅史

発行所
(公財)愛媛県教育会
〒790-8545
松山市祝谷町1丁目5-33
エスボーワール愛媛文教会館内
電話 (089)945-8644
FAX (089)945-1459
E-mail info@ehime-kyouikukai.jp

(8) ふるさとスケッチ
(6) (4) (5) (2) 学校紹介 味生第二小学校
(7) (5) 特集 心に残る先生子ども学校
今治市立西中学校

私の大切な仲間たち。それは愛媛県PTA連合会の仲間32名です。子どもが同世代と、という共通点から、今では、「かけがえのない宝物」となっています。

入社以来、私は休日や夜の交代勤務のため、一般の方との交流は少なく学校行事や役員を妻にお願いしていました。そんな会社人間の中に、自分がPTA活動の始まり。4人の子どもがいるので「何かお手伝いはしたい」と考えていました。同時に、伊方町PTA連合会会長選出で迷走しているところに、一人の教頭先生が私を指名してくださり、ま

たまた快諾すると県PTA連理事もセレクトで付いていました。その活動の中で、今回紹介する仲間に出会い、色々な人生経験の話を聞き、前向きな発言や行動を目にしてしまった。ボランティアで行っているPTA活動ですが、仲間たちと出会うと「元気・パワー」をもらつて自宅に帰り、仕事の悩みも解消する良い循環となりました。ここで仲間たちと悩んで解決した事例を2点紹介します。

1点目は、西日本豪雨時の募金活動です。団体名は「中小高PTA連合会」で四つの教育団体がタッグを組みましたが、最初に4団体にすることを提案したのは県PTAの先輩でした。小さい団体にも大きな金額を受け取れる配慮を教えて頂き、分配方法は4団

体の会長で話しました。分配する経験は、今後の人生で大きな財産になりました。2点目は、西日本豪雨被災地での「親子防災キャンプ」です。H28(30年)H30年台風で中止の間、岩手県陸前高田市にて中学生30名で防災事業を行いました。そのことを活かし、令和元年は「県内で防災事業をやろう」と言う声を形にするのに悩みましたが、県PTA役員と話合い。吉田中学校を借りて、元県PTA連合会会長の復興話や自衛隊・赤十字・被災地見学・中間支援組織の講演等、盛沢山のメニューを用意できましたが、参加希望は3組(9名)でした。ここから県PTA役員のネットワークを活用した結果、小・中学生、保護者、スタッフ計51名の活動ができました。このように困つたり悩んだりしたら、すぐ相談できる仲間たち。2年目の会長職も無事終了出来そうです。これからも、大切な仲間32名と一緒に・相談・実行してより良い団体を継続できるよう尽力します。

一略
(ぎょうてん・まさし)
歴
伊方町PTA連合会理事
伊方町PTA連合会副会長
平成27~29年
県PTA連合会副会長
平成26年
県PTA連合会理事
伊方町PTA連合会副会長
平成2年
四国電力入社
平成2年
県PTA連合会副会長
平成30年
県PTA連合会会長

「学校週5日制になる前の土曜日の解放感は格別だった。」お昼の弁当を買いに行く先生や食事に出る先生。下校指導する子どもたちとは正門で合流。空は青く、白い雲が輝く。昼下がり。共に歩く両者の足取りは極めて軽い▼下校指導が偶然だったかは覚えていない。とにかく、土曜日は誰もが笑顔だった。子どもと先生の距離が一気に縮む魔法の声を形にするのに悩みました。それが、吉田中学校を借りて、元県PTA連合会会長の復興話や自衛隊・赤十字・被災地見学・中間支援組織の講演等、盛沢山のメニューを用意できましたが、参加希望は3組(9名)でした。ここから県PTA役員のネットワークを活用した結果、小・中学生、保護者、スタッフ計51名の活動ができました。このように困つたり悩んだりしたら、すぐ相談できる仲間たち。2年目の会長職も無事終了出来そうです。これからも、大切な仲間32名と一緒に・相談・実行してより良い団体を継続できるよう尽力します。

1点目は、西日本豪雨時の募金活動です。団体名は「中小高PTA連合会」で四つの教育団体がタッグを組みましたが、最初に4団体にすることを提案したのは県PTAの先輩でした。小さい団体にも大きな金額を受け取れる配慮を教えて頂き、分配方法は4団

する子どもの足取りは極めて軽い▼下校指導が偶然だったかは覚えていない。とにかく、土曜日は誰もが笑顔だった。子どもと先生の距離が一気に縮む魔法の声を形にするのに悩みました。それが、吉田中学校を借りて、元県PTA連合会会長の復興話や自衛隊・赤十字・被災地見学・中間支援組織の講演等、盛沢山のメニューを用意できましたが、参加希望は3組(9名)でした。ここから県PTA役員のネットワークを活用した結果、小・中学生、保護者、スタッフ計51名の活動ができました。このように困つたり悩んだりしたら、すぐ相談できる仲間たち。2年目の会長職も無事終了出来そうです。これからも、大切な仲間32名と一緒に・相談・実行してより良い団体を継続できるよう尽力します。

1点目は、西日本豪雨時の募金活動です。団体名は「中小高PTA連合会」で四つの教育団体がタッグを組みましたが、最初に4団体にすることを提案したのは県PTAの先輩でした。小さい団体にも大きな金額を受け取れる配慮を教えて頂き、分配方法は4団

聞ぶきよ んう 韻

「学校週5日制になる前の土曜日の解放感は格別だった。」お昼の弁当を買いに行く先生や食事に出る先生。下校指導する子どもの足取りは極めて軽い▼下校指導が偶然だったかは覚えていない。とにかく、土曜日は誰もが笑顔だった。子どもと先生の距離が一気に縮む魔法の声を形にするのに悩みました。それが、吉田中学校を借りて、元県PTA連合会会長の復興話や自衛隊・赤十字・被災地見学・中間支援組織の講演等、盛沢山のメニューを用意できましたが、参加希望は3組(9名)でした。ここから県PTA役員のネットワークを活用した結果、小・中学生、保護者、スタッフ計51名の活動ができました。このように困つたり悩んだりしたら、すぐ相談できる仲間たち。2年目の会長職も無事終了出来そうです。これからも、大切な仲間32名と一緒に・相談・実行してより良い団体を継続できるよう尽力します。

1点目は、西日本豪雨時の募金活動です。団体名は「中小高PTA連合会」で四つの教育団体がタッグを組みましたが、最初に4団体にすることを提案したのは県PTAの先輩でした。小さい団体にも大きな金額を受け取れる配慮を教えて頂き、分配方法は4団

子どもに学ぶ

愛媛県小中学校教頭会
会長 川上 齊睦

ひととこと

2年前、小学校第5学年算数科「面積」の授業をしていました。5年の「面積」では、三角形、平行四辺形、台形、ひし形の面積を求積します。それらが応用できるように、また、複雑な形をした图形を、既習图形の集合として捉える視点が育つようにと考え、單元の最後に、手のひらの面積を求める学習活動を行いました。

子どもたちは方眼ノートに各自の手のひらを置いて形どり、既習内容を使って思い思いに面積を求めていきました。左右に分けて三角形や台形が二つと見立てる子、上下に分けて三角形と台形に分割する子等、捉え方は様々です。

そんな中、全く別の捉えで求積している児童がいました。彼は、手のひらの图形を1cm幅の短冊状に分けて長方形の集合とみなし、その各長方形の面積の和から問題を解決していましたのです。なぜこの方法をとったのか理由を尋ねると、「長方形だと計算が簡単だし、短辺が1cmだと、長辺の足し算だけで済むから。」とのことでした。いわゆる、積分の考え方です。

彼はこの問題を解決するに当たって、この単元の学習内容を全く使っていません。これまでの我が授業の至らなさを恥じると同時に、発想の豊かさに感心したものでした。

人は、時として自分の予想を超えた発想に直面することがあります。その発想内容に価値を認め、先につなぎ伸ばすことができるかは受け手の力量次第です。自分自身はどうなのか、時折この件を思い出します。時には自省しつつ、先生方の発想が学校運営に生かされるよう、教頭として努めています。

学校紹介

No.207

松山市立味生第二小学校

新時代へはばたけ！集会（誕生祭）



本校は、松山市西部に位置し、昭和58年に味生小学校からの分離新設校として開校しました。開校記念碑には「情（こころ）」が刻まれており、創立以来ずっと大切に受け継がれてきた精神です。これは、地域にある「真情（まごころ）」橋」に由来し、味生小学校には「眞」の字が、味生第二小学校には「情」の字が刻まれた石碑が建てられています。日々の教育の中でもごころを育てる教育の推進に努めています。

（「愛ある愛媛の道徳」小学5・6年生参照）

本校が、開校以来ずっと繼続するところです。

人は、時として自分の予想を超えた発想に直面することがあります。その発想内容に価値を認め、先につなぎ伸ばすことができるかは受け手の力量次第です。自分自身はどうなのか、時折この件を思い出します。時には自省しつつ、先生方の発想が学校運営に生かされるよう、教頭として努めています。

（教頭 久保田 真士）



20年後の自分にあてたメッセージを書き、学級写真とともに入れました。2039年8月14日に開封を決め、全校でタイムカプセル集会を行いました。午後からはPTAによる飲食バザーもありました。たくさんのメニューのほかに、改元記念の餅つき・お菓子つき券として「餅つき体験券」がありました。中には、当たり券として「餅つき体験券」が入っているものもあり、おやじの会主催の餅つき体験をすることができました。楽しいひとときを過ごすとともに、20年後に思いをはせる一日となりました。

（教頭 久保田 真士）

さらに、今年は平成から令和への改元を記念して、全校でタイムカプセルを埋めることになりました。6月に保護者や教職員、おやじの会、児童会の代表者で実行委員会を編成し、準備を進めました。

児童一人一人が現在の様子や

題字に寄せて

百折不撓

宇和島市津島中
教頭 理恵 河野

百折不撓とは、「何回失敗しても志をまげないこと」という意味です。

この由来には、次の二つが有名です。一つ目は、中国の後漢の末期、国々が領土を争って命がけで戦っていた時代に、蔡邕が国の大事に臨む様子を記した文と言られています。二つ目は、偶然温泉らしき泉を発見した人が、温泉と確信し掘つてみてもなかなか温泉が出ず、何度もくじけそうになりながら掘り続けた結果、温泉を掘り当てたといふ話がきっかけで生まれたと言われています。

私は今年の目標にこの言葉を選択しました。どんなことにも好奇心を持ち、くじけない心を大切にし、たくさんのことに挑戦していきたいです。

ふるさとに生きる
ふるさとの花咲かじいさん

No. 105



道岡喜好 先生

訪問者 八幡浜教育会

二宮 一成（会長）
井原 正晴（副会長）

道岡先生は、現在、日土東公民館主事として、地域住民の中心になって、多くの行事を行っています。

現職のころは、「花咲か先生」と呼ばれ、先生が勤めた学校はどこも花いっぱいの美しい学校になりました。そして花植えは学校にとどまらず

地域にも広がっていきました。その業績は、愛媛新聞にも掲載されたほどです。

1 花植え活動の思い出

花を育てることで、子どもたちの心も育つていった。花は、来た人の足音を聞いて育つという。愛情を持って育てれば、より一層美しい花を咲かせる。水やりに相当な時間がかかるが、それが苦痛になつたことはない。花を枯らすことのほうが悲しかった。

2 「花育」とは

これまで地域に何かとお世話になつていたのに（仕事もあつて）、あまり関わつてこなかつた。今、恩返しのつもりで地域と関わつている。

4 公民館主事として

今まで地域に何かとお世話になつていたのに（仕事もあつて）、あまり関わつてこなかつた。今、恩返しのつもりで地域と関わつている。

今、何かと業務改善の名の下、行事等の精選が行われています。しかし、それによって地域との繋がりが薄れ、何

ある。保護者、老人会、日赤奉仕団等、みんなで一緒に花を植え、地域を美しく飾つたこと。

これからも、八幡浜の「花咲かじいさん」として、花

の街作りをお願いしたい。地区の学校が閉校になり、子どもを見かけることが少なく寂しい。先生方には、どこで、人と人との繋がりを広げることができた。今でも、地域行事の後には、みんなで酒を酌み交わし親交を深めている。

7 道岡先生とお酒

お互いに飲みながら語り合

うことで、人と人との繋がりをく寂しい。先生方には、どこで、人と人との繋がりを広げることができた。今でも、地域行事の後には、みんなで酒を酌み交わし親交を深めている。

6 今

の学校・先生・子ども

繋がりが広がつていった。富山の種苗店の方と懇意になり、チュークリップの球根を3万球送つてもらつたことが

お年寄りが寄り集まつて楽しめる施設があればと思う。日土の行事を今でも支えているのは、みんなお年寄りだ。

「みんな」とのように、よそから人を集めような施設も大事だが、ここで生まれ育つ

今でも、地域の人のために苗を作つてある。行事では、春に行われる「おひなさま街道」のための花作りや、庭田

花を植えることで、人との繋がりが広がつていった。富山の種苗店の方と懇意になり、チュークリップの球根を3万球送つてもらつたことが

話を聞きながら思いました。これからも、八幡浜の「花咲かじいさん」として、花

（愛）あふれる街づくりを目指していただけたらと思いま

す。

道岡喜好先生（64歳）

（八幡浜市日土町在住）

特集
心に残る先生・子ども・学校



新居浜市金栄小
教諭

星川 遼

心に残る ドリームツリー

1

私の勤務校である金栄小学校の校庭には「ドリームツリー」と呼ばれる1本のメタセコイアの大樹があります。子どもの頃よく校庭に遊びに来てこの木を眺めていました。それは今や新居浜市の冬の風物詩となつており県下にテレビ放送されるほど有名になりました。

12月、高さ25メートルのメタセコイアを約20万球のLEDで電飾し、ドリームツリーが誕生します。年末の点灯式から正月にかけて壮大なイルミネーションが浮かび上がり金栄校区の冬の夜空を彩ります。今年で34年目を迎えました。平成4年度からは卒業アルバムの一ページを飾つてします。

ツリーのテーマやデザインは子どもたちが考案します。



ツリーの点灯式には市長様はじめPTAや地域の方々、金栄OBや多くの市民の皆様が参加されます。ツリーを見ると笑顔になり寒さも吹き飛びます。そしてこのイベントに関わる幸せを感じています。心に残るツリーを仰ぎながら、学校・家庭・地域が一体になるすばらしさを日々学ばせてもらっています。

去年のテーマは「令和も平和! 金榮 One Team」でした。飾り付けはPTA、先生、地域の方など約50人が全て手作業で行います。親世代が頑張ってくれたことを今度は自分が子どもたちのためにやろうという気持ちで準備されています。地域のきずなを受け継いで地域のつながりを深めようという気概が伝わってきます。学校と地域が一丸となつてワンチームで作り上げる新居浜の風物詩なのです。

「若い時に辛酸をなめた者こそ信頼される人に成長する。」と熱く語った。一切の妥協を許さない中学生活は、他の生徒とは比べ様のない厳格なものだつたが、私の今後的人生を導く道標となつた。

私が教師となつて3年後の勤務校の学校長は恩師菅哲先生だつた。野球部の指導をしていた私に、「人間を作れ。」と常技よりも心を鍛えよ。」と常に説いてくれた。なかなか勝手に焦る私に、「焦つてはいいかん。勝つより大切なことがある。選手と保護者への信



松山市三津浜中
教頭
金本 茂樹

子どもに生かされる

を読み返しては初心に戻り、指導に当たることができた。私の母校桜井中学校は恩師の母校でもある。OBの懇親会での恩師の口癖は、「わしが死んだら球魂を側に置いてくれ。」だつた。恩師が逝つた時、野球部部歌を歌い、OB全員で球魂を恩師の側に置いていた。

恩師の背中を追つて走つてきた教員生活だつたが、恩師の足元にも及ばず終わる。ただ：恩師と巡り会つて教員生活を送れたことこそが無上の幸せだったと思つている。

頼だ。」と肩をたたいてくれた。胸が熱くなつた。

教師も子どもから学び成長することがあることを理解していくつもりでいた。

校からの経験者は皆無である。3年生に全国でもトップ入部員の眼前でその生徒にボロ雑巾のように投げられたことが、私の指導者としてのスタートである。虚勢を張つても無駄。私は新入部員たちと共に汗を流すことで彼らと繋がろうとした。

見るからに弱そうな（そして実際に弱い）新入部員たちは先輩に強い憧れを抱き「全國大会に行く」ことを疑わない。そうはならない現実を諭してほしいと保護者から頼まれたが、いつの間にか私自身が彼らと同じことを言うようになつた。子どもなりに夢をあきらめないからである。

予想に反してみるみる上達していくなかで、「自分のことは自分でするようになつた」「乱暴なことを一切しなくなつた」「仏壇の前に座りなつた」など子どもたちの変容が保護者から寄せられた。

当時、合理的で効率のよい指導が私にはできなかつたが、子どもたちと共に汗を流すことにより弱音を吐こうとは思わずなかつた。彼ら7名の夢をあきらめない一途な姿勢と内面の成長に、私自身が励まされていたのである。

ちなみに彼ら7名の誰一人として全国大会には出場していない。

心に残る先生



大洲市肱川中
教諭 橋本 尚子

振り返つてみると、自分の進学校です。小学生の時は走つて遅く、ドッジボールも取り組んでいた私が中学校で選んだ部活は、周囲もびっくりのソフトボール部。強くなりたいと頑張る仲間たちに指だけで進むおもろい練習しよつたなあ」とか「あの試合の時、あんた一人だけ三本のホームラン打ったぜなあ」とか話はいつも一緒に話もわからぬまま必死になつて練習していました。その時の仲間とは今でも年に一度は地元で集まります。「親も恵まれて、いろいろな大会に出させてもらいました。それから本当に環境には恵まれてきました。仲間にも、家族にも、先生にも。こんなに恵まれすぎて、いつかバチが当たるんじゃないかと思うほどです。

そんな私ですが、自分の進学校です。小学生の時は走つて遅く、ドッジボールも取り組んでいた私が中学校で選んだ部活は、周囲もびっくりのソフトボール部。強くなりたいと頑張る仲間たちに指だけで進むおもろい練習しよつたなあ」とか「あの試合の時、あんた一人だけ三本のホームラン打ったぜなあ」とか話はいつも一緒に話もわからぬまま必死になつて練習していました。その時の仲間とは今でも年に一度は地元で集まります。「親も恵まれて、いろいろな大会に出させてもらいました。それから本当に環境には恵まれてきました。仲間にも、家族にも、先生にも。こんなに恵まれすぎて、いつかバチが当たるんじゃないかと思うほどです。

祝 受章・受賞おめでとうございます

◇瑞宝双光章（高齢者叙勲）

池内 淳三様 88歳 元北条市立北条南中学校長

松山市

松前町

◇教育者文部科学大臣表彰
足立 一志様 松前町立松前中学校長

松山市

松前町

大本 光浩様 元長浜町立白滝小学校長

松山市

松前町

◇文部科学大臣優秀教職員表彰
古鎌 幸一様 愛媛大学教育学部附属小学校王幹教諭

松山市

香川県三豊市

鈴木 稔紀様 四国中央市立川之江小学校主幹教諭

松山市

今治市

森 沢子様 今治市立桜井小学校栄養教諭

松山市

西予市

鈴木 治英様 四国中央市立三島南中学校教諭

松山市

松山市

向井 真理子様 松山市立東雲小学校教諭

松山市

松山市

富永 喜子様 愛南町立御荘中学校主幹教諭

松山市

松山市

砥部町立砥部中学校教諭

松山市

松山市

向井 真理子様 愛南町立御荘中学校主幹教諭

松山市

◇今治市立西中学校（愛媛県教育委員会研究指定校）

研究主題

自分らしさを發揮し、互いに認め高め合い、よりよく生きる生徒の育成

ー物事を広い視野から多面的・多角的に考える学習を通してー

1 はじめに

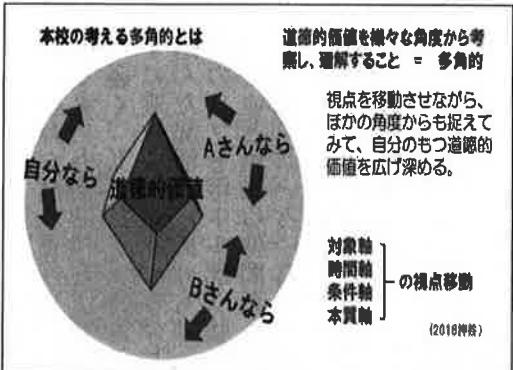
文部科学省の委託事業「道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業」の一環として、県教育委員会より研究指定を受けて研究を行つてゐる。その概要を紹介する。

2 本校の研究主題

本校の学校教育目標は、「自分らしさとともに發揮する。」である。これから生徒たちが生きていく世界は、グローバル化が一層増し、情報にあふれ、ますます多様になつてくることが考えられる。そんな世界において自分らしさを發揮し、よりよく生きるために、視点の多様性をもつことこそ重要であると考え、研究主題を設定した。

3 本校の考える多面的・多角的とは

本校では、多面的・多角的を次のように捉えた。



道徳的価値が様々な面をもつてゐることを「多面的」と捉えた。例えば「思いやり」の中にも、相手を励ます思いやりもあれば、相手を見守ろうとする思いやり等、様々な側面があり、多面的であるといえる。

一方、「多角的に考える」とは道徳的価値を様々な角度から考察し、理解することである（左図）。「もしもAさんだつたら」というような、対話的・多角的に考える学習のめざすところ」を設定した。例えば、国語科では、「様々な視点を有する他者との対話的な言語活動の充実を図る指導の工夫により、確かに豊かな自己表現力を育成する。」とした。

4 道徳科の授業の進め方

本校では、「道徳的価値に向き合う」「考え方を広げ深める」「自分を見つめ直す」を道徳科の授業の基本的な流れとしている。「道徳的価値に向き合う」では、道徳的な事象や状況に向き合い、自分の



写真1



写真2

象軸の視点移動や「今はこう考へているが、昔はこう考へていた。」というような、時間軸の視点移動等、視点を移動させながら、道徳的価値を捉えることで、自分のもつ道徳的価値に対する捉えが広がり深まるといえる。

道徳的価値と向き合い、仲間とともに多面的・多角的に考へる学習を通して、よりよい生き方をめざす生徒を育てたいと考え実践を行つた。また、各教科において「多面的・多角的に考へる学習のめざすところ」を設定した。例えば、国語科では、「様々な視点を有する他者との対話的な言語活動の充実を図る指導の工夫により、確かに豊かな自己表現力を育成する。」とした。

① 道徳科の実践

第1学年では、「選手に選ばれて」という教材で、遵法精神、公徳心に迫る授業を行つた。「心のものさし」の両端に権利と義務の関係を示し、A君が選手として走るべきかどうか、チップを置かせ

る授業を行つた。これまでの人生で自分を支えてくれた人の存在に気付かせ、詩の中で話し合わせた。その後、妹の誕生によつてどんな気持ちが生まれたかについて、ホワイ

トボードに各々の考えを書いた。第2学年では、「妹に」という教材で、生命の尊さに迫る授業を行つた。これまでの人生で自分を支えてくれた人の存在に気付かせ、詩の中で話し合わせた。その後、妹の誕生によつてどんな気持ちが生まれたかについて、ホワイ

トボードに各々の考えを書いた。このことで、価値を明確化させた。役割演技を取り入れ、登場人物の心情について体験を為について他者と協働して話題を広げ、多面的・多角的に捉える。「自分を見つめ直す」では、道徳的価値に対する捉えを再び見つめ直し、自己のよりよい生き方について考へる。

て発表させた。最後に、家族からの手紙を読むことで自分の人生を見つめ(写真2)、動画を視聴して授業を終えた。

中で様々な視点に気付き、考協働して課題を解決していく



写真3

② 他教科の実践

第1学年数学科では、視力検査のランドルト環を提示し、何が変わっていくから視力を測れるのか考えさせた。考えた3つの視点について、測定結果を基にどんな関係があるか班で話し合わせた(写真3)。その後、班の2名が

えを深め合うという点において、真理の探究、創造と関連と近代日本のあゆみについて、開国するべきか、するべきではないか、それぞれのメリットとデメリットを武士の立場で考えさせた。その後、開国の影響をまとめるとともに、もし開国していなかつたらどうなつっていたのかを考えさせた。それぞれの考えを尊重し、広い視野に立つて多様なものの見方や考え方があることを理解しようとする点において、相互理解、寛容と関連をもたせた(写真4)。



写真4

③ 家庭や地域との連携
家庭や地域社会と連携した道徳教育推進の一環として、

と近代日本のあゆみについて、開国するべきか、するべきではないか、それぞれのメリットとデメリットを武士の立場で考えさせた。その後、開国の影響をまとめるとともに、もし開国していなかつたらどうなつっていたのかを考えさせた。それぞれの考えを尊重し、広い視野に立つて多様なものの見方や考え方があることを理解しようとする点において、相互理解、寛容と関連をもたせた(写真4)。

6 おわりに

多面的・多角的に考える学習が、他の教科における主体的・対話的で深い学びの実現にもつながってきてている。

課題は、認め合える温かい集団づくりを更に進めたり、相手の話にじっくり耳を傾ける学習環境づくりを一層高めたりするということ、家庭や地域との連携において、双方向なやり取りにしていくことで、保護者の願いや思いを生かすことである。このことが道徳的判断力、心情、実践意欲と態度を高め、生徒が社会の中でよりよく生きることにつながるものと考える。

本校では「道トーキ」という道徳通信を発信している。保護者からの通信欄を作ったところ、少しずつ、返信してくれる方がいらつしゃった。

また、「おうちで道徳」という実践を行った。道徳科で学んだことを家庭に持ち帰り、家族の意見を聞くことで多面的・多角的に捉えることができ、改めて自分の考えを振り返ることができた。

春といえば桜

ローカルトピックス

西予市内にある私のお勧めの桜の名所を紹介します。
第1位は、西予市明浜町の野福峠の桜です。桜保存会の方たちが、野福峠の景観をよくするために1年を通して、手入れをされています。ここは、太陽の光で海も輝いていますので、圧巻です。

第3位は、野村町坂石地区から惣川に向かう道沿いです。手前の道路に桜並木、遠くに集落が見える風景は、どことなく落ち着くことができます。ここは、穴場かも知れません。ぜひ、カメラ持参で訪れてみては、いかがでしょうか。



明浜町「野福峠」の桜

畠・ふすま張替えのご案内

愛媛県学校生活協同組合連合会では、(株)ライフネットと提携店契約を結んでおります。

面倒な畠替え、ふすまの張り替えなどのご用命はお気軽に学校生協までご相談ください

お問い合わせは

愛媛県学校生活協同組合連合会
電話(089) 925-0555
または 都市学校生活協同組合



(文教月報編集協力委員
西予市三瓶小学校長 三好 智美)

間の桜です。ここは、全国名水百選に選ばれた場所が近くにあり、川面に映る桜並木の様子が、とても美しいです。

第3位は、野村町坂石地区から惣川に向かう道沿いです。手前の道路に桜並木、遠くに集落が見える風景は、どことなく落ち着くことができます。ここは、穴場かも知れません。ぜひ、カメラ持参で訪れてみては、いかがでしょうか。

